

と同じです。そのころは、まだクロールなどの泳ぎ方は、伝えられていませんでした。

長崎の海は、きれいでした。大波止から団平船という舟にのって、協会のつくった水泳場のあるねずみ島に渡る子どもたちの声が、海面をゆるがせてひびいてきます。砂浜にいますをにおいて、子どもたちを監督する四郎の心には、あの故郷の常浪川で泳いだワンパク少年のころの、思い出がうかんでいたことでしょう。

「遠い昔のことになったな。」

四郎は、子どもが好きでした。この尾道へ来てからも、よく子どもたちを集



現在の長崎游泳協会の水泳教室(長崎市民プールで)